

アイデアの芽吹き ~vol.56~



加盟店様の事例、他業界の取組み、商品の使用感等アイデアの「種 (SEEDS)」となる情報を毎月中頃に配信！



攻めのIT経営 ~ITを積極的に利活用して競争力を強化~

経済産業省が、IT利活用に積極的に取り組む中小企業を『攻めのIT経営中小企業百選』として、2015年に33社、2016年に27社、2017年に40社、計100社を選定しました。今回は、IT利活用に積極的に取り組む会社の事例や、生産性向上にまつわる話をご紹介します。



<配達ルートを効率的に確認できるツールを導入>

某宅配業者の事例によると、これまで新人の宅配員が担当するルートを覚えたり、既存の宅配員が新たなルートを確認するには、**ルートごとにお手製でルートマップを作成**していた



とのこと。配達順に並ぶ顧客リストを印刷し、該当の地図を地図帳からコピーして双方を突き合わせて確認しながら配達に使用していたそうです。分かりにくい箇所には、地図に赤ペンで印を付けるが、**ルートが変更になるたびにコピーして色塗りする作業は手間がかかって厄介**なうえ、**全体が見えず遠回り**をすることもあったとのこと。

そこで**導入したのが Google Maps と連動したマッピングアプリ**だそうです。iPad で見ると、地図が途切れることもなく**宅配順にルート表示されるので、道に迷うことも無く効率的な配達が可能**になったとのこと。

ママ宅配員の急な欠勤時も、再配分した最新ルートがすぐ確認出来るため**スピーディーな宅配指示が可能になった**とのこと

です。なお、SEEDS のスマートフォン実績入力アプリ『**ジョブポケット**』にもナビゲート機能があり、ご利用頂いております。



また、日々の業務実績をデータ化しグラフで『見える化』することにより、従業員の仕事への取り組み意識に変化が現れ、さらには**気づいたことを書き残すことで作業現場の改善活動につながり**、5年間で売上の伸びは2.7倍、職員の定着率が向上し、利用者満足度評価が上がる等の効果が出ているそうです。

参考記事 URL: 経済産業省ウェブサイト (<http://www.meti.go.jp/>) <http://news.mynavi.jp/series/iphoneipadkatsuyo/132>

<介護サービス事業のIT活用の取り組み>

介護事業では専門職員の労働負担が大きく、離職・労働移動率の高さが問題とされているとのこと。某介護サービス事業会社では、質の高い介護作業を実現するためには**職員たちの働きやすい環境作りが問題克服の出発点であると考え**たそう。

従業員の労働意欲の向上や、事業所間での均一な介護を実現して利用者の安心と満足度を高めるための具体的な取り組みとして、クラウド上の日報を利用しているそうです。それにより、iPhone・iPad から**職員同士の日報情報を共有することが出来**、**管理者の迅速な判断も可能になった**とのこと。



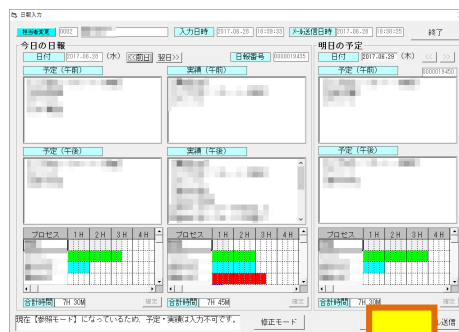
さらに、日々の業務実績をデータ化しグラフで『見える化』することにより、従業員の仕事への取り組み意識に変化が現れ、さらには**気づいたことを書き残すことで作業現場の改善活動につながり**、5年間で売上の伸びは2.7倍、職員の定着率が向上し、利用者満足度評価が上がる等の効果が出ているそうです。

<フリーキャンパスの生産性向上の取り組み>

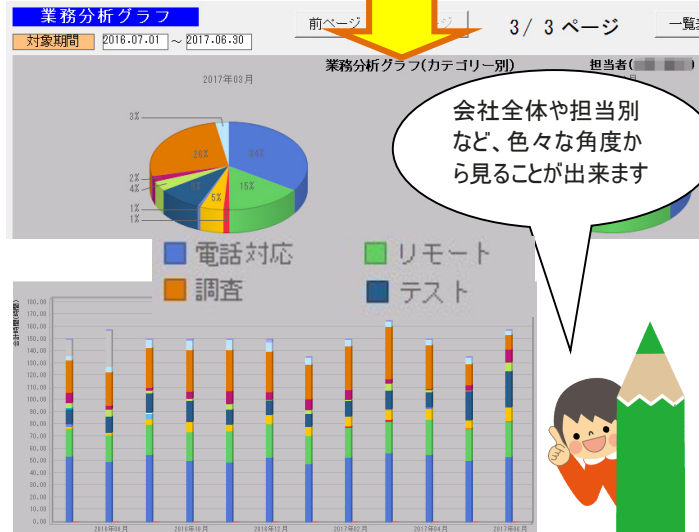
弊社では、**約10年前 (2007年4月) から、従業員は毎日業務終わりに日報を入力して送信すると、全員にメール送信される仕組みを導入**しています(自社開発)。

入力する内容は、

- ・業務の内容と、各業務別の所要時間
 - ・自身が考える、その日の反省点と改善具体策
 - ・サポート業務ごとのご対応件数(サポート担当のみ)
- です。毎日メールで届くのは文字情報ですが、**業務分析グラフ**という機能があり、各自、いつでも誰でも自由にグラフを見ることが出来るようになっていました。『〇〇の業務に〇時間』という文字情報では分かりづらい部分も、グラフで見ることにより、視覚的に見ることが出来ています。



日々、業務別の所要時間を入力することで...



上図のグラフは某サポート担当の業務分析グラフですが、**電話対応・リモート対応・調査が大部分を占めていることが一目瞭然**です。なお、経営者側はこのグラフ機能を経費や投資の率を見るために利用しているそうです。